

平成30年 第9回

宮崎市教育委員会（定例会）

会 議 録

平成30年 第9回宮崎市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成30年8月17日（金）13：40～16：00
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席者 【教育長・教育委員】
西田教育長、松野代表教育委員、畠山委員、江草委員、柳田委員
【陳情者 3名】
【事務局】
河野教育局長
（企画総務課）本村課長、富田補佐、河野主幹、安藤係長、
田中主査、黒田主任主事、三角主事
（学校施設課）大住課長、年増補佐
（学校教育課）押川課長、串間補佐
（教育情報研修センター）荒武所長、平山次長
（生涯学習課）黒岩課長、矢野補佐
（保健給食課）中野課長、和田補佐
（文化財課） 富永課長、甲斐補佐

- 3 陳情
浦之名小学校の閉校等に関する陳情 （2件）

4 議 案

番号	件名	説明者
議案第22号	平成29年度一般会計歳入歳出決算の原案について	教育局長 各課長
議案第23号	平成30年度一般会計補正予算案の原案について	教育局長 学校施設課長 保健給食課長
議案第24号	宮崎市交流センター条例の一部改正の原案について	地域コミュニテ ィ課長
議案第25号	宮崎市児童クラブ事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の原案について	生涯学習課長
議案第26号	宮崎市青少年指導委員の委嘱について	生涯学習課長

5 報 告

番号	件名	説明者
報告第23号	公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について	生涯学習課長
報告第24号	専決処分の報告について	生涯学習課長
報告第25号	事故等の報告について	学校教育課長

西田教育長	<p>それでは、定刻になりましたので、ただ今から、第9回教育委員会定例会を開会いたします。会次第「2 会議録署名人の指名」です。本日の会議録の署名人は、私西田と、畠山教育委員を指名させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	<p>本日は、陳情がございますので、行事報告等の前に陳情第1号及び第2号について、審議したいと思います。陳情については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし。
西田教育長	ここで非公開を解除いたします。
	<p>会次第「3 行事報告等」に入ります。1ページをお開きください。「(1) 教育長報告」です。最初に、「平成30年度宮崎県市町村教育長連絡協議会研修会」について、ご報告いたします。2ページをご覧ください。概要がございますとおり、教育行財政部会、学校教育部会、生涯学習部会に分かれ、研修がございました。私は、第3部会である生涯学習部会に参加しましたが、特筆する部分としては、今回この部会で初めて文化財について取り上げたことです。市町村教育委員会として、文化財の保護や継承について、十分認識しておかないといけないということを改めて感じたので、非常に良かったです。そして、翌日に各部会の報告という形で研修会を行っております。</p> <p>続きまして、「ふれあいトーク」についてです。ふれあいトークは、今年度から市長が全25校区を3年間で全部まわるという形で計画されております。最初の回になりますが、大宮中学校区の10名の方、市長、私も含めまして、地域の方々も参加し、大淀川学習館で開催されました。テーマは、「子どもたちの未来のためにできること」です。トークの柱は、「教育における家庭・学校・地域の連携・協働」ということで、市長がまず最初に、宮崎の人口減少の状況を説明しながら、住みやすく、力強く発展するまちづくりを行いたいというお話をされました。大宮中学校校長からの学校紹介では、地域との関係が非常に良く、赤ペン先生として学校に地域の方が入っていただいているなど現状について、説明がありました。その後、意見交換となったところです。中学生は、生徒会の役員が3人参加していました。地域との活動やボランティア活動をもっとやりたいということで、この意見交換が終わりに近づく頃には、地域の方と生徒会と話しながら、そのような機会が作れないだろうかという建設的な意見がでました。非常に有意義な意見交換だったと思っております。</p> <p>それでは、1ページにお戻りください。8月10日（金）に開催されました「平成30年度宮崎市総合教育会議」については、会次第「5 その他」で委員の皆様から感想をいただきたいと思っております。</p> <p>次に、「(2) 委員報告」でございます。8月2日（木）～3日（金）に大分県別府市で行われた、「平成30年度九州地区市町村教育委員会連合会総会・視察研修」について、松野代表教育委員から報告をお願いいたします。</p>
松野代表教育委員	<p>それでは、資料4ページをお願いいたします。8月2日、3日に、大分県別府市にて、九州地区市町村教育委員会連合会の総会がございました。私と西田教育長が参加させていただきました。初日は、</p>

	<p>総会が開催され、昨年度の事業決算報告、昨年度、宮崎市でございました第12回九州地区市町村教育委員会連合会研究大会の決算報告、本年度の事業計画予算案の審議の後、意見交換がありました。意見交換の中で教育長職務代理者の呼称が議題に上がりました。代表教育委員は、宮崎市のみの呼称でした。また、九州地区市町村教育委員会連合会の理事及び代表者を、各県で理事が2名、代表者1名の3名で構成するのですが、少し特徴的なものがあります。福岡県は2名で代表者はおりませんが、2名の理事のお二人とも教育長です。このように教育長だけで3名を占めているところはありませんが、福岡県だけ教育長で占めています。宮崎は、教育長2人と教育委員1人の3名ですが、このパターンで熊本、大分、宮崎の3県が教育長2名と教育委員1名の3名で代表出しているという形です。そして、今度は逆に3名とも全て教育委員を占めており、教育長が一人も入っていらっしゃらないというところが、佐賀県、沖縄県という状況でした。これはやはり、今後調整が必要だろうという話があったところでした。その次に、講演会がございました。『多文化環境の中でのグローバル人材育成APUでの経験から』という演題です。APUとは、日本語では、アジア太平洋立命館大学でございます。この非常にユニークな大学について、大分県の方が報告されました。学生の約2人に1人が、海外88カ国の地域から来ており、この大学は、アジア太平洋学部と、国際経営学部があるということでした。その中で、アジア太平洋学部では、アジア太平洋のさらなる発展と共生に貢献できる人材を育て、国際経営学部では、国際ビジネス関係の最前線で活躍する人間を育てるというお話がございました。続きまして、2日目の視察研修でございます。別府市竹細工伝統産業会館を訪問させていただきました。竹細工でどのようなものができるのかなど、素晴らしいものを拝見し、感激して帰りました。そして、大分香りの博物館に参りました。香水をブレンドする体験ができ、そこでブレンドした香水を本日持参いたしました。報告は以上です。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございました。つづきまして、1ページの(3)教育局长報告でございます。7月26日(木)～27日(金)に山形県山形市で開催されました「平成30年度全国市町村教育委員連合会事務局長会議」について、河野教育局长からよろしく申し上げます。</p>
河野教育局长	<p>5ページをご覧ください。先月7月26日から27日に山形市に行きまして、全国市町村教育委員連合会事務局長会議ということで、出席いたしました。1日目は2つの項目について協議しました。1つ目は、教員の働き方改革の取組状況についてです。ほとんどの県で計画方針等が作られており、市においては、岐阜市がタイムレコーダーを全学校に導入、長野市が部活年間300時間の活動指導員の時間の予算を確保するなどそれぞれ取り組んでいらっしゃいました。2つ目が、各都道府縣市町村教育委員連合会の組織及び事業についてです。各県連合会での会長に教育長、教育委員どちらがなっているかということについて伺いました。約46都道府県がこの連合会に加盟していますが、会長職に就いていますのは、教育長と教育委員半分くらいずつの状況でありました。また、新海事務局長から、国の予算や取組について説明がありました。そして、山形市にあります比叡山延暦寺と同等の天台宗の宝珠山立石寺というお寺の清原住職から、講演をいただきました。人材の育成が大事であ</p>

	<p>るという内容でございました。翌日に視察研修でその立石寺という山寺まで散策の予定でしたが、猛暑のため中止となり、お寺でのお話をお聞きするのみとなったところです。その後、芭蕉の記念館を見学しました。視察研修には、22の都道府県が参加しており、交流ができて非常に良かったです。以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ありがとうございます。1ページにお戻りください。(4)の各課行事報告等については、記載のとおりです。これまでの説明・報告について何かご質問等ありますか。それでは、議事に入らせていただきます。11ページをご覧ください。本日、議案が5件でございます。議案第22号から議案第25号までについては、公開前の案件でございますので、こちらにつきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除いたします。次に、議案第26号「宮崎市青少年指導委員の委嘱について」続けて、説明をお願いします。</p>
黒岩生涯学習課長	<p>26ページ、27ページをお開き下さい。議案第26号「宮崎市青少年指導委員の委嘱について」でございます。青少年指導委員は、市内の中学校区を単位として、選出いただき、1カ月に3回程度、地域の中で青少年の集まりそうな場所を中心に巡回指導等を行っていただいております。現在は、184名の委員の方々に活動していただいておりますが、今回、そのうちの高岡地区におきまして、27ページの表にあります、鈴木政宏氏から、一身上の都合による辞任の申し出を受けました。推薦団体である、高岡地区青少年育成協議会から、後任として、下の方の7番目、栗沢和男氏を推薦いただいたことから、それぞれの条例または要項の規定により、委嘱するものでございます。なお、栗沢氏の任期につきましては、前任者の残任期間となります、平成30年9月1日から平成31年5月31日まででございます。以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、議案第26号について、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>ほかに質問がないようでしたら、議案第26号「宮崎市青少年指導委員の委嘱について」、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>ご承認ありがとうございます。以上で、議案は承認されました。次に、報告でございます。28ページをご覧ください。本日、報告が3件でございます。報告第23号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」、事務局から説明をお願いします。</p>
黒岩生涯学習課長	<p>第23号「公益財団法人宮崎文化振興協会の経営状況について」説明させていただきます。資料の29ページをお開き下さい。第23号「公益財団法人宮崎文化振興協会」の経営状況等について報告するものでございます。「平成29年度の公益財団法人宮崎文化振興協会 事業報告書及び決算書」と「平成30年度の公益財団法人宮崎文化振興協会 事業報告書及び決算書」の説明報告になります。まず、別冊資料「平成29年度の公益財団法人宮崎文化振興協会 事業報告書及び決算書」38ページをご覧ください。宮崎文化振興協会は、「宮崎科学技術館」「みやざき歴史文化館」、「佐土原歴</p>

史資料館」、「天ヶ城歴史民俗資料館」、「大淀川学習館」、「宮崎市民プラザ」の6館の施設について、指定管理者として施設の運営を行っております。38ページの表は、開設から29年度までの入館者数の推移でございます。表の一番下が平成29年度のそれぞれの施設の入館者数になっております。昨年度と比べますと、増えているところもあれば、減っているところもあるというところがございます。科学技術館につきましては、昨年度が開館30周年のイベントを行ったということもありまして、平成28年度と比べますと、1万3000人程度増加しております。その他の施設につきましては、前年度よりも減少という結果になっております。それでは、資料の1ページにお戻りください。宮崎文化振興協会の事業報告を載せております。3ページからが、科学技術館の事業実績報告になります。先程も申し上げましたように、科学館は、昨年度30周年の記念事業を行いました。そのことについて、7ページに記載しています。昨年度は、「アポロ展」や「太陽のふしぎ」などの企画展や巡回展を開催し、平成29年7月29日には、大西宇宙飛行士に来ていただいて、講演会をしていただきました。国際宇宙ステーションでの貴重な体験や活動を、来場された多くの方が聞き入り、子どもたちからも、多くの質問が寄せられるなど、盛会となりました。39ページ以降は、収支の実績報告になっております。平成29年度の決算について、「貸借対照表」を載せております。「貸借対照表」というのは、法人の主要な財務諸表のひとつで、3月31日年度末現在の協会の財務状況を示すものです。まず、ローマ数字Ⅰの「資産の部」Ⅱの「負債の部」Ⅲの「正味財産の部」とあります。一番下から2行目ですね、正味財産合計は、1億1,191万1,254円正味財産として、協会はこれだけ保有しているということになります。40ページ、41ページをご覧ください。平成29年度単年度の収支状況になります。40ページ中程の経常収益計(A)でございますが、これが昨年度、協会が得た収入の合計になります。41ページの中ほどにあります経常費用計(B)とありますが、これが昨年度一年間の協会が支出した金額です。40ページの「経常収益計(A)」から41ページの「経常費用計(B)」を差し引きしましたところ、マイナス885万1,000円となります。これが事業活動による収支となります。さらに、その下の欄に、経常外の費用として、法人税、住民税、事業税などがございます。法人税、住民税、及び事業税(D)51万8,000円を支払いましたので、当期一般正味財産増減額は、マイナス937万690円となります。単年度で見ると赤字ですが、繰越金を加味しますと、「一般正味財産期末残高(E)」8,191万1,254円となります。なお、この財政状況につきましては、監査を受けておりまして、その監査報告書として、46ページに適正な処理であることが報告されております。続きまして、もう一冊の「30年度事業計画書及び収支予算書」をご覧ください。1ページから、文化振興協会が今年度、各施設で予定している、イベントや自主事業などを載せております。32ページをご覧ください。平成30年度の収支予算書でございますが、32ページの中程に経常収益計とありますが、5億4,544万1,000円の収入を見込む内訳としましては、指定管理料や補助金からこれらの収入を見込んでおり、様々な事業を行っていくという計画でおります。33ページの中段に「経常費用計」と

	<p>なりますが、「5億4,964万2,000円」支出の見込みとしてはこれだけ見込んでいることで今年度の報告を受けております。報告第23号についての説明は、以上でございます。</p>
西田教育長	<p>ただいま説明のありました、報告第23号について、ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、ほかに無いようでしたら、報告第24号「専決処分の報告について」及び報告第25号「事故等の報告について」でございます。こちらについては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項により、非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
西田教育長	<p>それでは、ここで非公開を解除いたします。次に、会次第「5 その他」に移らせていただきます。それでは、事務局から「通学路等の緊急の合同点検の実施状況について」報告がありますので、簡潔にお願いします。</p>
押川学校教育課長	<p>小中学校の通学路のブロック塀に関しての危険箇所についての合同点検を行いました。期間は、7月1日から17日、各学校職員、各学校のPTA役員また地域の方に協力いただきながら、教育委員会事務局職員も立ち会いまして、合同点検を行いました。2番の(2)にありますように、合計で569カ所の点検を行いました。主なものとしましては、ひび割れ、それから傾き等であります。あくまで、目視による点検ですので、建築基準法に合致しているかどうかまではわかりません。ただ、それぞれの場所につきまして、住所も含めて一覧表を作成し、その情報につきましては、建築指導課へ情報提供を行い、それぞれの持ち主に対しまして、このような危険な状況がありますということで、お知らせをしながら、改修についての理解を求めるというかたちで今後進めさせていただきたいと考えている次第でございます。なお、通学路を変更するかどうかにつきましては、それぞれの保護者との確認を現在行っているところでございます。場合によっては、そこを必ず通らなければならないという状況もありますので、その際にはやはり保護者が児童生徒に対しまして、ここは危険な場所であるという認識のもとで通学するというので、指導を徹底してまいりたいと考えているところでございます。報告は以上でございます。</p>
西田教育長	<p>時間が押していますので、総合教育会議の感想については、別途お聞きいたします。続きまして、会次第「6 次回委員会について」、7「行事予定」まで続けて、説明をお願いします。</p>
本村企画総務課長	<p>まず、32ページをご覧ください。次回の定例会は、9月26日(水)、13時40分から15時でお願いしたいと考えております。 (行事予定説明)</p>
西田教育長	<p>どうぞよろしくお願ひいたします。以上をもちまして、第9回定例会を終了させていただきます。お疲れ様でした。</p>

